

5 保護者・企業等への普及・啓発強化

(1) 保護者・地域への普及・啓発強化

家庭教育の在り方、働くことに対する保護者の考え方や態度は、子どもたちのキャリア発達に大きな影響を与えます。

キャリア教育を進めるに当たっては、こうした家庭や保護者の役割やその影響の大きさを常に念頭におき、家庭・保護者との共通理解を図りながら進めることが重要です。

保護者との実りある連携を図るためには、キャリア教育が子どもたち一人一人の主体的な進路の選択・決定を指導援助するものであるという共通理解を得ることが必要です。

また、産業構造や進路をめぐる環境の変化等について、企業の人事担当者やPTA研修会などを通じて学んだり、積極的に情報提供したりするなどして、現状を踏まえた情報交換や面談などを実施していく必要があります。

ポイント

- ① 家庭や保護者との共通理解を図るため、キャリア教育に係る情報を積極的に提供
- ② 保護者が学校の教育や運営に積極的に参画したり、キャリア・アドバイザーとして話をしたりする場を設定

手順及び留意点

1 キャリア教育に係る情報の積極的に提供

留意点

家庭や保護者に対し、キャリア教育の意義を理解し、学校の実践などを知っていただくため、次に示す取組みにより情報を積極的に発信します。(※22)

- ・ 各種通信（学校便り，学級通信 等）の配布
- ・ キャリア教育に係る啓発リーフレット等の配布
- ・ 保護者が集う場における啓発
（学級懇談会，個人懇談会，地域懇談会，P T A総会・研修会 等）
- ・ 児童生徒の学習成果等を発表する場における啓発
（参観授業，学習成果発表会 等） 等

資料

※22 P.134

No.22 キャリア教育保護者・地域啓発リーフレット例
（東広島市立御園宇小学校）

2 保護者の学校教育や運営への参画

留意点

(1) 保護者や地域の方に，学校の教育や運営に積極的に参画できるよう，次に示す取組みを行います。

- ・ 学級懇談会の企画・運営
- ・ P T C活動の企画・運営
- ・ 運動会・体育祭，文化祭等の学校行事の企画・運営
- ・ P T A新聞の作成
- ・ 地域の行事やボランティア活動の企画・運営 等

(2) 保護者や地域の方に，社会人・職業人としての経験を学校や学級の講師等として話す場などを設けます。

第3章4「3 キャリア・アドバイザーの確保及び継続的・計画的な活用」(P.26)を参照してください。

(2) 企業等への普及・啓発強化

学校においては、それぞれの機関の持つ多様な役割や機能を理解し、学校から積極的に働きかけて連携を強化する取組みを進める必要があります。

ポイント

- ① 企業や行政関係機関等に、キャリア教育に係る情報を積極的に提供
- ② 産業界・経済界から協力を得るための組織づくり
- ③ 産業界・経済界からキャリア・アドバイザーとして招聘し、子どもの状況や学校の取組みなどを紹介

手順及び留意点

1 キャリア教育に係る情報の積極的な提供

留意点

産業界や経済界に対し、キャリア教育の意義を理解し、学校の実践などを知っていただくため、次に示す取組みにより情報を発信します。

(※23)

- ・ キャリア教育に係る啓発リーフレット等の配布
- ・ 職場見学，職場体験，インターンシップの実施
- ・ キャリア・アドバイザーの招聘
- ・ 児童生徒の学習成果等を発表する場における啓発（学習成果発表会 等） 等

資料

※23 P.134

No.22 キャリア教育保護者・地域啓発リーフレット例
(東広島市立御園宇小学校)

2 産業界・経済界と連携を図る組織の設置

留意点

第3章4「3 キャリア・アドバイザーの確保及び継続的・計画的な活用」(P.26)を参照してください。

3 産業界・経済界からキャリア・アドバイザーの招聘

留意点

産業界・経済界の方に、社会人・職業人としての経験を学校や学級の講師等として話したりする場を設けます。

第2章1「3 キャリア教育を推進するための組織づくり(2)校外の諸機関との連携を図る組織づくり」(P.10,11)を参照してください。

4 学校と産業界・経済界が連携・協力した実践

留意点

学校と産業界・経済界が連携・協力し、次に示す取組みを行います。

- ・ 職場見学, 職場体験, インターンシップ
- ・ 社会人講師による講演会
- ・ 職業人による講演会 等

学校とハローワークとの意見交換会等において、学校の要望をハローワークに伝えるなど、日頃から緊密な情報交換に努める必要があります。

- ・ 中学校, 高等学校卒業後も、就職相談や求人情報の入手など、子どもたち自身が必要に応じ積極的にハローワークを利用できるよう、その機能について理解させておくことが大切です。
- ・ 子どもたちのキャリア発達を支援するための総合的機能を有する「私のしごと館」の活用など、多様な施策についても幅広く情報を収集し、各学校の実情に応じて活用することが求められます。